

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月28日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿



提出者

住 所 福岡市中央区高砂2-24-23

氏 名 松山建設株式会社

代表取締役 松山 孝義

電話番号 092-533-0001

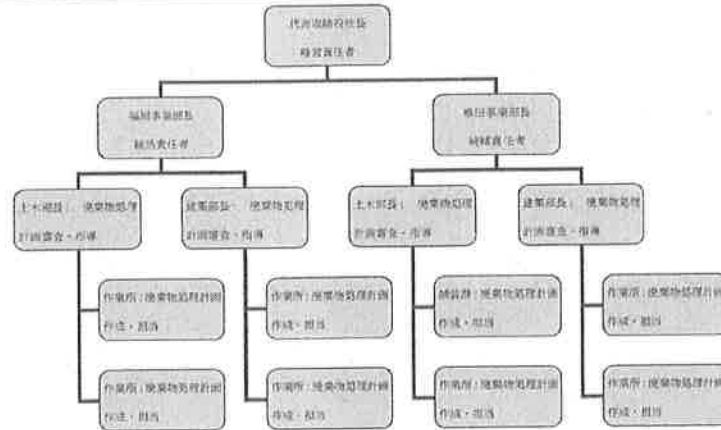
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松山建設株式会社 大分県内工事
事業場の所在地	福岡市中央区高砂2-24-23
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 建設業・総合工事業
②事業の規模	前年度全社 売上高 38.6億円
③従業員数	全体 61人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	かれき類(アスファルト・コンクリートがら) 発生工事⇒中間処理等⇒利用工事(再生合材・再生砕石・再生砂) 建設汚泥 発生工事⇒中間処理等⇒利用工事(埋め戻し土・盛土材) 木くず等 発生工事⇒中間処理⇒再生材 ※収集運搬は、委託または自己運搬

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 工法を見直しや改善を行い、廃棄物の発生量を削減に取り組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 更なる工法の改善を実施し、余分な資材の搬入を防ぐことにより発生量を抑制する取り組み。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 重機・人力による分別を実施する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 混合廃棄物のコンテナ利用でも、品目分別を積極的に実施し、再生効率を高める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 産廃処理業者の選定に際し、委託基準を遵守できる業者であることを確認し決定している。なお、優良認定処理業者の優先的採用を目指している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き、優良認定処理業者の優先的採用や再資源化率の高い中間処理業者への選定委託を目指します。		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書（第2面～第5面）別紙

単位:トン(t)

[illegible]